

(1) 青森県産食素材からリパーゼ阻害成分の探索

背景 : 青森県産の食素材から有望な生理活性を探索する一環
目的 : 青森県産食素材からリパーゼ阻害活性を探索

【本研究で収集した食素材 (19種)】

アイスプラント、赤いリンゴ、おかのり、
ガーデンハックルベリー、金時草、黒
だいこん、ケール、サジー、自然薯、
白人参、セロリアック、ブラックベリー、
ボイセンベリー、松房ブドウ、ヤーコン、
ヨウシュヤマゴボウ、アピオス花、ダッ
タンソバ

方法 ・リパーゼ阻害活性測定 ・ポリフェノール濃度測定

- 19種の食素材のリパーゼ阻害活性およびポリフェノール濃度を測定
 - セロリアックおよびヤーコンのリパーゼ阻害活性が高い
 - ヨウシュヤマゴボウ、アピオス花およびダッタンソバにリパーゼ阻害活性は認められない
 - ポリフェノール濃度はガーデンハックルベリーが最も高い
- 総ポリフェノール濃度が高くなるほどリパーゼ阻害活性が強くなる関連性は見られなかった

強いリパーゼ阻害活性を示す特定のかつ量的には多くないポリフェノール化合物を有している可能性

成果

セロリアックおよびヤーコンに強いリパーゼ阻害活性
リパーゼ阻害活性とポリフェノール濃度との関連性は低い